



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2607 URL <https://www.fujioilholdings.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 酒井 幹夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 連結グループリーダー (氏名) 永山 勝博 TEL 06-6459-0731  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け電話会議）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	416,687	30.2	8,776	△26.4	8,375	△28.7	5,062	△46.0
2022年3月期第3四半期	319,936	17.1	11,923	△11.8	11,752	△8.7	9,368	8.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 26,916百万円 (38.0%) 2022年3月期第3四半期 19,500百万円 (373.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	58.89	—
2022年3月期第3四半期	108.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	499,903	219,866	42.4	2,465.00
2022年3月期	416,617	189,495	44.7	2,168.13

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 211,903百万円 2022年3月期 186,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2023年3月期	—	26.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	26.8	13,500	△10.1	12,500	△13.0	8,000	△30.5	93.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※詳細は、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）Fuji Oil International Inc.

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	87,569,383株	2022年3月期	87,569,383株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,604,628株	2022年3月期	1,607,211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	85,963,663株	2022年3月期3Q	85,959,667株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症影響下からの経済活動正常化が進んだものの、世界的なインフレに対応する政策金利の引き上げが各国で相次いだことから先行き不透明な状況が続きました。

原材料価格につきましては、主原料であるパーム油や大豆では、ウクライナ情勢やインドネシアのパーム油輸出制限の影響等により、期初は高水準の推移となりました。パーム油は、6月以降インドネシアのパーム油輸出再開等により期初の高騰からは落ち着きを見せています。一方、大豆は一時下落したものの、天候不順や需要増加期待等により高水準で推移しています。また、物流費や人件費等の上昇や、日本におきましては円安の影響により、原料調達コストは高止まりしています。

当社グループにおいては、今期から2024年度までの3ヵ年の新中期経営計画「Reborn 2024」を策定しました。「事業基盤の強化」、「グローバル経営管理の強化」、「サステナビリティの深化」を基本方針として、販売価格の適正化による基礎収益力の復元や事業軸管理の強化、サステナブル調達による差別化等を進めることで、企業価値向上への取り組みを進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2023年3月期 第3四半期連結累計期間	416,687	8,776	8,375	5,062
2022年3月期 第3四半期連結累計期間	319,936	11,923	11,752	9,368
前年同期比 増減 (前年同期比 増減率)	+96,750 (+30.2%)	△3,147 (△26.4%)	△3,376 (△28.7%)	△4,305 (△46.0%)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高	前年同期比 増減	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 増減	前年同期比 (%)
植物性油脂	153,659	+57,223	+59.3%	5,242	△422	△7.5%
業務用チョコレート	167,441	+29,618	+21.5%	4,090	△1,150	△21.9%
乳化・発酵素材	69,807	+10,318	+17.3%	936	△712	△43.2%
大豆加工素材	25,779	△410	△1.6%	1,337	△764	△36.4%
連結消去・グループ管理費用	—	—	—	△2,832	△96	—
合計	416,687	+96,750	+30.2%	8,776	△3,147	△26.4%

## (植物性油脂事業)

売上高は、主原料であるパーム油等の原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇に加え、北米における新工場の稼働や円安の影響により大幅な増収となりました。営業利益は、東南アジアでの堅調な販売が寄与したものの、北米新工場稼働開始に伴う減価償却費等の固定費の増加により減益となりました。

## (業務用チョコレート事業)

売上高は、円安の影響に加え、原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。営業利益は、景況感の悪化による需要減退等を受け、国内及び北米における販売数量が減少したことにより減益となりました。

## (乳化・発酵素材事業)

売上高は、原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇に加え、円安の影響により増収となりました。営業利益は、国内での販売数量の増加があったものの、中国のゼロコロナ政策長期化による需要減退等を受けた販売数量の減少及び原材料価格上昇による採算性の低下により減益となりました。

## (大豆加工素材事業)

売上高は、原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇はあったものの、国内での大豆たん白素材の販売数量の減少に加え、前連結会計年度に中国の大豆たん白食品会社を譲渡したことにより減収となりました。営業利益は、国内での大豆たん白素材の販売数量の減少等により減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ832億85百万円増加し、4,999億3百万円となりました。中期経営計画「Reborn 2024」において、資本効率の向上と財務モニタリング強化により事業基盤の強化・再構築を進め、財務体質の改善に取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 第3四半期	増減
流動資産	201,334	249,916	+48,582
有形固定資産	140,628	160,135	+19,507
無形固定資産	55,697	65,054	+9,356
その他資産	18,958	24,797	+5,838
資産	416,617	499,903	+83,285
有利子負債	148,769	185,483	+36,713
その他負債	78,352	94,553	+16,200
負債	227,122	280,036	+52,913
純資産	189,495	219,866	+30,371

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、原材料価格の上昇に伴う運転資本の増加や、円安の影響により流動資産が増加しております。有形固定資産の増加は主に使用権資産の増加によるものです。また、その他資産の増加は主にOilseeds International, Ltd.の取得に伴う投資有価証券の増加63億88百万円によるものです。以上の結果、前連結会計年度末に比べ832億85百万円増加し、4,999億3百万円となりました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、運転資本の増加に伴う有利子負債の増加や円安の影響により、前連結会計年度末に比べ529億13百万円増加し、2,800億36百万円となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、米ドル及びユーロ等に対する円安による為替換算調整勘定の増加や、Fuji Oil International Inc.へのOilseeds International Ltd.及びFuji Vegetable Oil, Inc.株式の現物出資により資本剰余金が35億60百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ303億71百万円増加し、2,198億66百万円となりました。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ296円87銭増加し、2,465円00銭となりました。自己資本比率は前連結会計年度比2.3ポイント減少し、42.4%となりました。

## (連結キャッシュ・フローの状況)

当社グループは、財務規律を維持・向上するため、着実な利益成長とキャッシュ・コンバージョン・サイクルの短縮により、フリー・キャッシュ・フローを毎年100億円以上創出することを基本方針としております。そのため、設備投資の厳選、ノンコア事業の売却及び政策保有株式の更なる削減等の財務体質の改善を進めております。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期累計期間	2023年3月期 第3四半期累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,680	△13,946	△15,626
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,883	△11,182	+1,700
フリー・キャッシュ・フロー	△11,203	△25,128	△13,925
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,407	24,286	+13,879
現金及び現金同等物	20,154	16,947	△3,207

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、139億46百万円の支出となりました。前第3四半期連結累計期間に比べ、仕入債務の減少及び販売価格改定に伴う売掛債権の増加による運転資本の増加を主要因として、156億26百万円減少しております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、111億82百万円の支出となりました。前第3四半期連結累計期間に比べ、設備投資の減少及び資産の売却を進めたことにより、17億円支出が減少しております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、242億86百万円の収入となりました。前第3四半期連結累計期間に比べ、日本における普通社債の償還による支出がありましたが、運転資本の増加に伴う短期借入金の増加により、138億79百万円収入が増加しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、当第3四半期までの実績並びに足元の市場環境等に基づく見通しを勘案し、2022年11月9日に公表した予想数値を変更しております。詳細は、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,926	16,957
受取手形及び売掛金	81,121	104,109
商品及び製品	40,786	53,563
原材料及び貯蔵品	55,249	64,459
その他	8,468	11,048
貸倒引当金	△217	△221
流動資産合計	201,334	249,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,485	43,269
機械装置及び運搬具(純額)	58,137	61,002
土地	20,659	21,984
建設仮勘定	15,283	18,211
その他(純額)	7,061	15,667
有形固定資産合計	140,628	160,135
無形固定資産		
のれん	27,008	31,200
顧客関連資産	16,954	20,681
その他	11,734	13,172
無形固定資産合計	55,697	65,054
投資その他の資産		
投資有価証券	7,122	14,546
退職給付に係る資産	4,952	5,356
繰延税金資産	708	807
その他	6,110	4,037
貸倒引当金	△62	△62
投資その他の資産合計	18,831	24,684
固定資産合計	215,156	249,874
繰延資産		
社債発行費	126	112
繰延資産合計	126	112
資産合計	416,617	499,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,654	41,035
短期借入金	44,518	86,159
1年内償還予定の社債	10,000	—
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	1,727	1,030
賞与引当金	2,588	1,961
役員賞与引当金	62	9
その他	11,290	18,620
流動負債合計	120,840	158,816
固定負債		
社債	35,000	41,000
長期借入金	49,251	48,324
繰延税金負債	15,038	18,576
退職給付に係る負債	1,996	1,691
その他	4,995	11,627
固定負債合計	106,282	121,219
負債合計	227,122	280,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	11,945	15,494
利益剰余金	159,664	160,240
自己株式	△1,954	△1,946
株主資本合計	182,864	186,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,523	1,688
繰延ヘッジ損益	1,070	△1,128
為替換算調整勘定	1,079	24,404
退職給付に係る調整累計額	△161	△58
その他の包括利益累計額合計	3,512	24,905
非支配株主持分	3,117	7,963
純資産合計	189,495	219,866
負債純資産合計	416,617	499,903



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	319,936	416,687
売上原価	269,599	362,248
売上総利益	50,336	54,439
販売費及び一般管理費	38,412	45,662
営業利益	11,923	8,776
営業外収益		
受取利息	473	376
受取配当金	74	79
為替差益	196	649
持分法による投資利益	71	447
その他	381	613
営業外収益合計	1,196	2,166
営業外費用		
支払利息	698	1,627
その他	668	939
営業外費用合計	1,367	2,566
経常利益	11,752	8,375
特別利益		
固定資産売却益	749	82
投資有価証券売却益	385	—
還付税金	744	143
特別利益合計	1,879	225
特別損失		
固定資産売却損	50	0
固定資産除却損	410	261
減損損失	43	—
関係会社事業再構築損失	242	—
特別損失合計	747	261
税金等調整前四半期純利益	12,884	8,340
法人税、住民税及び事業税	3,149	3,448
法人税等調整額	282	△88
法人税等合計	3,432	3,359
四半期純利益	9,452	4,980
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	84	△82
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,368	5,062

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	9,452	4,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△219	165
繰延ヘッジ損益	△49	△2,199
為替換算調整勘定	10,115	23,652
退職給付に係る調整額	86	102
持分法適用会社に対する持分相当額	114	214
その他の包括利益合計	10,047	21,935
四半期包括利益	19,500	26,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,308	27,193
非支配株主に係る四半期包括利益	191	△276

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,884	8,340
減価償却費	11,269	13,036
のれん償却額	1,607	1,929
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△640	△404
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	343	△175
受取利息及び受取配当金	△547	△455
支払利息	698	1,627
減損損失	43	—
持分法による投資損益 (△は益)	△71	△447
投資有価証券売却損益 (△は益)	△385	—
固定資産処分損益 (△は益)	△288	170
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,632	△17,664
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,017	△11,979
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,895	△2,182
その他	△196	969
小計	6,963	△7,237
利息及び配当金の受取額	291	860
利息の支払額	△796	△1,664
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,778	△5,904
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,680	△13,946
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,714	△12,956
有形固定資産の売却による収入	1,240	1,745
無形固定資産の取得による支出	△881	△774
投資有価証券の取得による支出	△100	△295
投資有価証券の売却による収入	684	—
子会社出資金の売却による収入	—	1,394
長期貸付金の回収による収入	15	7
長期前払費用の取得による支出	△764	—
その他	△361	△303
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,883	△11,182
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11,533	33,360
長期借入れによる収入	10,326	6,984
長期借入金の返済による支出	△6,436	△6,794
社債の発行による収入	—	5,967
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△4,475	△4,475
非支配株主への配当金の支払額	△105	△191
その他	△434	△564
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,407	24,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	497	75
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△297	△767
現金及び現金同等物の期首残高	20,452	15,915
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,154	16,947

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、Fuji Oil International Inc.を設立し、連結の範囲に含めております。Fuji Oil International Inc.は特定子会社に該当しております。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第3四半期連結累計期間において、主要な子会社を以下のとおり異動しております。

(1) 連結の範囲の変更

第1四半期連結会計期間において、Fuji Oil International Inc.を連結の範囲に含めたことに伴い、その傘下のOilseeds International, Ltd.についても連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の変更

第1四半期連結会計期間において、Oilseeds International, Ltd.を連結の範囲に含めたことに伴い、その傘下のRITO Partnershipを持分法適用の範囲に含めております。また、K&FS PTE. LTD.は、重要性が低下したため持分法適用の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準ASU第2016-02「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、第1四半期連結会計期間より米国会計基準ASU第2016-02「リース」(以下「本基準」という。)を適用しております。これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについてリース資産(純額)及びリース債務として計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、当第3四半期連結貸借対照表において有形固定資産のその他が8,117百万円、流動負債のその他が613百万円、固定負債のその他が6,136百万円それぞれ増加しております。なお、この影響による第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示の取扱いを定めた「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下、「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	植物性油脂	業務用チョコ コレート	乳化・発酵 素材	大豆加工 素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	153,659	167,441	69,807	25,779	416,687	—	416,687
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,849	2,006	4,999	100	25,955	△25,955	—
計	172,508	169,447	74,806	25,879	442,642	△25,955	416,687
セグメント利益	5,242	4,090	936	1,337	11,608	△2,832	8,776

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,832百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,832百万円が含まれております。全社費用は、当社及び一部のエリア統括会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

# 不二製油グループ本社（株） 決算補足資料

2022年度（2023年3月期）

- 第3四半期 -

ページ	項目
1	表紙
2	0-1： 注記 / 為替情報
3	1-1： 2022年度 連結業績 3Q（3ヶ月）
4	1-2： 2022年度 連結業績 3Q累計
5	1-3： 2022年度 連結業績 3Q累計（事業別・所在地別マトリクス）
6	2-1： 主な指標
7	3-1： 2022年度 連結業績予想
8	3-2： 2022年度 連結業績予想（通期 / 事業別・所在地別マトリクス）

## 0-1 : 注記 / 為替情報

### 注記情報

#### 一部製品のセグメントの変更による遡及修正

2021年度より、一部製品を大豆加工素材セグメントから乳化・発酵素材セグメントへ組み替えています。  
その為、2020年度の数値を参考値として遡及修正して表示しています。

### 主な為替レート

・P/L : 期中平均レート、B/S : 期末レート

		2021年度	2021年度	2022年度	対前期比		2022年度 予想前提*
		3Q	期末	3Q	差	増減率	
\$	P/L	111.10	112.38	136.51	+25.41	+22.9%	136.51
	B/S	115.02	122.39	132.70	+10.31	+8.4%	-
BRL	P/L	20.72	21.10	26.55	+5.83	+28.1%	26.55
	B/S	20.61	25.83	25.43	▲ 0.40	▲1.5%	-
€	P/L	130.62	130.56	140.59	+9.97	+7.6%	140.59
	B/S	130.51	136.70	141.47	+4.77	+3.5%	-
人民元	P/L	17.25	17.51	19.88	+2.63	+15.2%	19.88
	B/S	18.06	19.26	19.01	▲ 0.25	▲1.3%	-

・P/Lは前年同期、B/Sは前年度期末（2021年度末）を比較

・2022年度3Qのブラマーに適用した為替レート(\$ )は、P/L 131.64、B/S 150.26

\* 予想前提P/Lレートは、2023年2月修正予想に合わせ見直した数値

## 1-1： 2022年度 連結業績 3Q（3ヶ月）

### ●業績概要

売上高 1,483億円（前年同期比+329億円）、営業利益 37億円（前年同期比▲3億円）

売上高：原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇及び為替円安の影響により増収。  
 営業利益：原材料価格の上昇に伴う販売価格対応に注力したものの、プラマーや中国での販売数量の減少などにより減益。

（単位：億円）

		FY2021 3Q実績	FY2022 3Q実績	前年同期比 増減額	増減要因(前年同期比)
売上高	植物性油脂	347	523	+175	主原料であるパームなどの原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇、北米新工場の稼働による販売数量の増加、為替円安の影響等により増収。
	業務用チョコレート	502	619	+117	為替円安の影響、及び原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収。
	乳化・発酵素材	218	252	+33	原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇、及び為替円安の影響により増収。
	大豆加工素材	86	89	+2	中国大豆たん白食品事業の譲渡、日本での販売数量の減少はあったものの、原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇により増収。
	合計	1,154	1,483	+329	
営業利益	植物性油脂	14	19	+5	【△】日本での採算の改善。 【▽】東南アジアの好調だった前期からの減少。
	業務用チョコレート	24	14	▲10	【△】欧州での販売数量の増加。 【▽】北米や日本での販売数量減少。
	乳化・発酵素材	7	9	+2	【△】日本でのクリームなどの伸長。東南アジアの採算の改善。 【▽】中国でのフリングの販売数量の減少。
	大豆加工素材	3	4	+1	【△】日本での機能剤の販売伸長。 【▽】日本での大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売数量の減少。
	グループ管理費用等	▲9	▲9	▲1	
	合計	40	37	▲3	
	営業利益率	3.5%	2.5%	▲1.0pt	
	経常利益	41	30	▲11	支払利息の増加。
	親会社株主に帰属する四半期純利益	34	18	▲15	-

\* 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。



## 1-2： 2022年度 連結業績 3Q累計

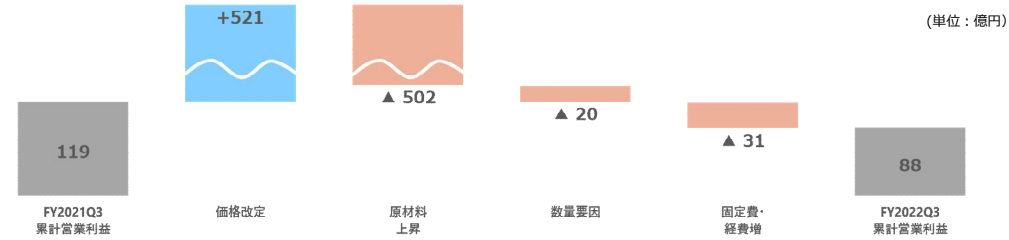
### ●業績概要

売上高 4,167億円（前年同期比+968億円）、営業利益 88億円（前年同期比▲31億円）

売上高：原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇及び為替円安の影響により増収。

営業利益：原材料価格の上昇に伴う販売価格対応に注力したものの上期を中心とした一部未達に加え、ブラマーの販売数量減少、北米の油脂新工場稼働に伴う経費増加等により減益。

### 営業利益増減分析



	FY2021 3Q累計	FY2022 3Q累計	前年同期比 増減額	増減要因(前年同期比)	
売上高	植物性油脂	964	1,537	+572	主原料であるパームなどの原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇、北米新工場の稼働による販売数量の増加、為替円安の影響等により増収。
	業務用チョコレート	1,378	1,674	+296	為替円安の影響、及び原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収。
	乳化・発酵素材	595	698	+103	原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇、及び為替円安の影響により増収。
	大豆加工素材	262	258	▲4	日本での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇はあったものの、中国大豆たん白食品事業の譲渡により減収。
	合計	3,199	4,167	+968	
営業利益	植物性油脂	57	52	▲4	【△】上期における東南アジアでの堅調な販売。 【▽】上期を中心とした原材料価格上昇による販売価格改定の遅れ、北米の採算低下と新工場の稼働に伴う経費の増加。
	業務用チョコレート	52	41	▲12	【△】ブラジル、欧州での販売数量の増加。 【▽】北米や日本での販売数量減少。
	乳化・発酵素材	16	9	▲7	【△】日本でのクリームなどの販売数量の増加。 【▽】中国でのフィリングの販売数量の減少。
	大豆加工素材	21	13	▲8	【▽】日本での大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売数量の減少。
	グループ管理費用等	▲27	▲28	▲1	
合計	119	88	▲31		
営業利益率	3.7%	2.1%	▲1.6pt		
経常利益	118	84	▲34		
親会社株主に帰属する四半期純利益	94	51	▲43		

\* 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

1-3 : 2022年度 連結業績 3Q累計 (事業別・所在地別マトリクス)

(単位:百万円)

売上高	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2022 3Q	42,162	+10,142	59,781	+29,432	24,273	+9,735	2,693	+467	24,748	+7,449	153,659	+57,223
	FY2021 3Q	32,020	+5,658	30,349	+8,122	14,538	+3,745	2,226	+133	17,299	+6,613	96,435	+24,272
	FY2020 3Q	26,362	-	22,227	-	10,793	-	2,093	-	10,686	-	72,163	-
業務用チョコレート	FY2022 3Q	31,478	+1,821	113,215	+22,271	11,955	+3,155	5,428	+506	5,363	+1,866	167,441	+29,618
	FY2021 3Q	29,657	+3,099	90,944	+8,542	8,800	+1,914	4,922	+882	3,497	+1,291	137,822	+15,727
	FY2020 3Q	26,558	-	82,402	-	6,886	-	4,040	-	2,206	-	122,094	-
乳化・発酵素材	FY2022 3Q	43,768	+4,584	-	-	12,320	+3,894	13,718	+1,842	-	-	69,807	+10,318
	FY2021 3Q	39,184	+1,202	-	-	8,426	+1,597	11,876	+3,095	-	-	59,488	+5,894
	FY2020 3Q	37,982	-	-	-	6,829	-	8,781	-	-	-	53,593	-
大豆加工素材	FY2022 3Q	24,981	+389	-	-	-	-	797	▲799	-	-	25,779	▲410
	FY2021 3Q	24,592	+563	-	-	-	-	1,596	+333	-	-	26,189	+896
	FY2020 3Q	24,029	-	-	-	-	-	1,263	-	-	-	25,292	-
売上高計	FY2022 3Q	142,390	+16,935	172,997	+51,703	48,550	+16,784	22,637	+2,015	30,111	+9,315	416,687	+96,750
	FY2021 3Q	125,455	+10,523	121,294	+16,664	31,766	+7,258	20,622	+4,444	20,796	+7,903	319,936	+46,791
	FY2020 3Q	114,932	-	104,630	-	24,508	-	16,178	-	12,893	-	273,144	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2022 3Q	2,716	▲326	▲719	▲975	2,793	+1,316	▲161	▲152	672	▲193	▲59	▲93	-	-	5,242	▲422
	FY2021 3Q	3,042	▲155	256	▲924	1,477	+577	▲9	▲151	865	+812	34	▲77	-	-	5,665	+79
	FY2020 3Q	3,197	-	1,180	-	900	-	142	-	53	-	111	-	-	-	5,586	-
業務用チョコレート	FY2022 3Q	4,234	▲584	▲925	▲801	351	+27	25	▲76	326	+224	77	+60	-	-	4,090	▲1,150
	FY2021 3Q	4,818	+631	▲124	▲1,016	324	+62	101	+261	102	▲133	17	▲11	-	-	5,241	▲203
	FY2020 3Q	4,187	-	892	-	262	-	▲160	-	235	-	28	-	-	-	5,445	-
乳化・発酵素材	FY2022 3Q	1,795	+218	-	-	▲624	▲68	▲256	▲703	-	-	21	▲159	-	-	936	▲712
	FY2021 3Q	1,577	+559	-	-	▲556	▲513	447	▲654	-	-	180	+48	-	-	1,648	▲559
	FY2020 3Q	1,018	-	-	-	▲43	-	1,101	-	-	-	132	-	-	-	2,208	-
大豆加工素材	FY2022 3Q	1,272	▲775	-	-	-	-	233	▲22	▲206	+25	38	+7	-	-	1,337	▲764
	FY2021 3Q	2,047	▲660	-	-	-	-	255	▲68	▲231	▲191	31	+82	-	-	2,102	▲835
	FY2020 3Q	2,707	-	-	-	-	-	323	-	▲40	-	▲51	-	-	-	2,938	-
連結調整	FY2022 3Q	118	+14	▲13	▲15	▲13	▲12	21	+15	▲91	▲88	▲38	+70	-	-	▲17	▲17
	FY2021 3Q	104	+78	2	▲4	▲1	▲3	6	▲8	▲3	▲95	▲108	+35	-	-	-	-
	FY2020 3Q	26	-	6	-	2	-	14	-	92	-	▲143	-	-	-	-	-
グループ管理費用	FY2022 3Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲2,814	▲79	▲2,814	▲79
	FY2021 3Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲2,735	▲78	▲2,735	▲78
	FY2020 3Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲2,656	-	▲2,656	-
営業利益計	FY2022 3Q	10,137	▲1,453	▲1,657	▲1,791	2,506	+1,262	▲136	▲936	701	▲32	38	▲116	▲2,814	▲79	8,776	▲3,147
	FY2021 3Q	11,590	+452	134	▲1,945	1,244	+122	800	▲622	733	+393	154	+78	▲2,735	▲78	11,923	▲1,598
	FY2020 3Q	11,138	-	2,079	-	1,122	-	1,422	-	340	-	76	-	▲2,656	-	13,522	-

\*2021年度から、大豆加工素材事業に含まれていた豆乳及びUSS豆乳製品を乳化・発酵素材事業に変更したため、2020年度実績を遡及修正して表示しています。

## 2-1:主な指標

大項目	項目	単位	備考	2020	2021	2022(累計実績)			
						1Q	2Q	3Q	4Q
PL項目	営業利益	億円		179	150	24	51	88	
	営業利益成長率	%		*2	▲16.2%	▲42.3%	▲36.0%	▲26.4%	
	EBITDA	億円		343	324	71	149	237	
	設備投資	億円	有形固定資産の設備投資	208	173	57	94	151	
	減価償却	億円	有形固定資産の減価償却費	118	127	34	71	108	
	ROA	%	経常利益÷総資産	4.8%	3.7%	3.0%	2.4%	2.4%	
	ROE	%	売上高純利益率×総資産回転率×財務レバレッジ	7.0%	6.6%	3.8%	3.2%	3.4%	
	売上高純利益率	%	当期純利益÷売上高	3.0%	2.7%	1.5%	1.2%	1.2%	
	総資産回転率	回	売上高÷総資産	1.01	1.12	1.15	1.18	1.21	
	財務レバレッジ	倍	総資産÷自己資本	2.2	2.2	2.3	2.3	2.4	
ROIC	%	営業利益×(1-法人税率)÷(有利子負債+自己資本)	4.3%	3.1%	1.7%	1.8%	2.0%		
BS項目	総資産	億円		3,585	4,166	4,756	4,963	4,999	
	有利子負債	億円		1,313	1,488	1,720	1,812	1,855	
	NET有利子負債	億円		1,108	1,328	1,519	1,629	1,685	
	NET運転資本	億円		697	805	865	1,015	911	
	自己資本比率	%		44.6%	44.7%	43.2%	43.3%	42.4%	
	負債比率	%		122.2%	121.9%	127.3%	126.6%	132.2%	
	のれん(広義)	億円	のれん(広義)とは、のれんに加え、商標権、その他無形固定資産等を含んだもの	466	499	586	607	627	
	のれん償却額	億円		21	22	6	12	19	
	のれん(広義)純資産比率	%		29%	26%	27%	27%	29%	
	D/Eレシオ	倍	有利子負債÷自己資本	0.82	0.80	0.84	0.84	0.88	
Net D/Eレシオ	倍	Net有利子負債(有利子負債-現預金)÷株主資本	0.63	0.73	0.82	0.87	0.90		
CF項目	営業キャッシュフロー	億円		382	35	▲115	▲172	▲139	
	投資キャッシュフロー	億円		▲174	▲188	▲28	▲56	▲112	
	フリーキャッシュフロー	億円		208	▲153	▲143	▲228	▲251	
	財務キャッシュフロー	億円		▲199	94	155	224	243	
	CCC	日		107	115	116	121	120	

\*1 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示しております。

\*2 FY2020の営業利益成長率：FY2019が15か月決算のため非表示。

\*3 FY2022.1Q、2Q、3QのROA、ROE、ROIC：年間換算した参考値を記載。

### ※補足：主な設備投資

年度	主な投資項目	億円
2022	日本 阪南事業所の設備更新等	50
3Q累計	米州 ハラルド第2工場建設等	30
	米州 ブラマ-設備投資等	19
	中国 クリーム工場建設等	11
	計	151

### 株主還元

株主還元方針
・配当性向30-40%
・安定かつ継続的な配当の実施

1株当たりの配当金の推移 (単位：円)

年度	中間配当	期末配当	合計	配当性向
2014	13	17	30	27.6%
2015	17	18	35	32.6%
2016	22	22	44	31.2%
2017	23	25	48	30.0%
2018	25	25	50	37.1%
2019	27	29	56	29.4%
2020	26	26	52	40.6%
2021	26	26	52	38.9%
2022 予想	26	26	52	55.9%

### 3-1: 2022年度 連結業績予想

#### ●業績概要

売上高 5,500億円（前期比+1,162億円）、営業利益 135億円（前期比▲15億円）

売上高：原材料価格上昇に伴う販売価格改定や為替円安の影響等により前期比増収を見込む。  
 営業利益：日本での業務用チョコレート事業や中国の乳化・発酵素材事業、ブラマーでの販売数量の減少により前期比減益を見込む。

(単位：億円)

	FY2021 実績	FY2022 前回予想 (22年11月)	FY2022 修正予想 (23年2月)	増減額 FY22修正予想(23年2月) VS FY21実績	増減額 FY22修正予想(23年2月) VS FY22前回予想(22年11月)	増減要因(前期比)	
売上高	植物性油脂	1,350	1,966	2,005	+655	+39	主原料であるパームなどの原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇、北米新工場の稼働、為替円安により増収を計画。
	業務用チョコレート	1,855	2,221	2,255	+400	+34	為替円安の影響、及び原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収を計画。
	乳化・発酵素材	791	935	908	+117	▲27	原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇、及び為替円安の影響により増収を計画。
	大豆加工素材	342	378	332	▲10	▲46	大豆たん白素材などの販売数量の減少により減収を計画。
	合計	4,338	5,500	5,500	+1,162	-	
営業利益	植物性油脂	74	92	75	+1	▲17	【↑】 上期での東南アジアにおける堅調な販売。 【↓】 北米新工場の稼働に伴う経費の増加。
	業務用チョコレート	75	79	67	▲8	▲12	【↑】 ブラジル、欧州での堅調な販売。 【↓】 日本、北米での販売数量の減少。
	乳化・発酵素材	16	19	16	▲0	▲4	【↑】 東南アジアでの採算改善。日本でのクリームなどの販売数量の増加。 【↓】 中国での販売数量の減少。
	大豆加工素材	21	15	16	▲6	+0	【↑】 飲料向け機能剤の販売数量の増加。 【↓】 大豆たん白素材の販売数量の減少。
	グループ管理費用等	▲37	▲41	▲38	▲1	+2	
合計	150	165	135	▲15	▲30		
営業利益率	3.5%	3.0%	2.5%	▲1.0pt	▲0.5pt		
経常利益	144	158	125	▲19	▲33		
親会社株主に帰属する当期純利益	115	105	80	▲35	▲25		

\*上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

### 3-2 : 2022年度 連結業績予想 (通期 / 事業別・所在地別マトリクス)

(単位：百万円)

売上高	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
			前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比
植物性油脂	2022 修正予想 (23年2月)	53,800	+10,413	80,900	+37,061	30,300	+9,318	3,500	+506	32,000	+8,228	200,500	+65,524
	2022 前回予想 (22年11月)	51,500	+8,113	82,100	+38,261	30,800	+9,818	3,500	+506	28,700	+4,928	196,600	+61,624
	2021 実績	43,387	-	43,839	-	20,982	-	2,994	-	23,772	-	134,976	-
業務用チョコレート	2022 修正予想 (23年2月)	40,100	+563	152,900	+30,667	18,500	+5,960	7,300	+908	6,700	+1,866	225,500	+39,960
	2022 前回予想 (22年11月)	45,200	+5,663	144,400	+22,167	18,500	+5,960	7,300	+908	6,700	+1,866	222,100	+36,560
	2021 実績	39,537	-	122,233	-	12,540	-	6,392	-	4,834	-	185,540	-
乳化・発酵素材	2022 修正予想 (23年2月)	56,700	+5,408	-	-	16,200	+4,219	17,900	+2,028	-	-	90,800	+11,654
	2022 前回予想 (22年11月)	57,700	+6,408	-	-	16,900	+4,919	18,900	+3,028	-	-	93,500	+14,354
	2021 実績	51,292	-	-	-	11,981	-	15,872	-	-	-	79,146	-
大豆加工素材	2022 修正予想 (23年2月)	32,000	▲315	-	-	-	-	1,200	▲652	-	-	33,200	▲967
	2022 前回予想 (22年11月)	36,600	+4,285	-	-	-	-	1,200	▲652	-	-	37,800	+3,633
	2021 実績	32,315	-	-	-	-	-	1,852	-	-	-	34,167	-
売上高計	2022 修正予想 (23年2月)	182,600	+16,067	233,800	+67,727	65,000	+19,496	29,900	+2,789	38,700	+10,093	550,000	+116,169
	2022 前回予想 (22年11月)	191,000	+24,467	226,500	+60,427	66,200	+20,696	30,900	+3,789	35,400	+6,793	550,000	+116,169
	2021 実績	166,533	-	166,073	-	45,504	-	27,111	-	28,607	-	433,831	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
			前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比
植物性油脂	2022 修正予想 (23年2月)	3,305	▲501	196	▲137	3,100	+980	▲136	▲147	975	▲261	37	+144	-	-	7,478	+77
	2022 前回予想 (22年11月)	3,699	▲107	1,970	+1,637	2,647	+527	▲147	▲158	1,090	▲146	28	+135	▲115	▲115	9,171	+1,770
	2021 実績	3,806	-	333	-	2,120	-	11	-	1,236	-	▲107	-	-	-	7,401	-
業務用チョコレート	2022 修正予想 (23年2月)	5,161	▲1,164	235	▲9	705	+54	46	▲89	472	+298	82	+65	-	-	6,700	▲848
	2022 前回予想 (22年11月)	6,035	▲290	670	+426	1,049	+398	▲157	▲292	283	+109	29	+12	-	-	7,909	+361
	2021 実績	6,325	-	244	-	651	-	135	-	174	-	17	-	-	-	7,548	-
乳化・発酵素材	2022 修正予想 (23年2月)	2,114	+320	-	-	▲353	+511	▲179	▲709	-	-	▲2	▲159	-	-	1,579	▲38
	2022 前回予想 (22年11月)	1,661	▲133	-	-	▲4	+860	254	▲276	-	-	34	▲123	-	-	1,944	+327
	2021 実績	1,794	-	-	-	▲864	-	530	-	-	-	157	-	-	-	1,617	-
大豆加工素材	2022 修正予想 (23年2月)	1,630	▲419	-	-	-	-	335	+18	▲438	▲142	62	▲16	-	-	1,589	▲560
	2022 前回予想 (22年11月)	1,608	▲441	-	-	-	-	343	+26	▲450	▲154	39	▲39	-	-	1,540	▲609
	2021 実績	2,049	-	-	-	-	-	317	-	▲296	-	78	-	-	-	2,149	-
連結調整	2022 修正予想 (23年2月)	118	▲32	▲13	▲20	▲13	▲8	21	+18	▲91	▲78	▲32	+131	-	-	▲10	+10
	2022 前回予想 (22年11月)	-	▲150	-	▲7	-	+5	-	▲3	-	+13	-	+163	-	-	-	+20
	2021 実績	150	-	7	-	▲5	-	3	-	▲13	-	▲163	-	-	-	▲20	-
グループ管理費用	2022 修正予想 (23年2月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,839	▲151	▲3,839	▲151
	2022 前回予想 (22年11月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,065	▲377	▲4,065	▲377
	2021 実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,688	-	▲3,688	-
営業利益計	2022 修正予想 (23年2月)	12,330	▲1,797	418	▲166	3,438	+1,536	89	▲910	919	▲182	145	+163	▲3,839	▲151	13,500	▲1,508
	2022 前回予想 (22年11月)	13,002	▲1,125	2,640	+2,056	3,692	+1,790	293	▲706	923	▲178	130	+148	▲4,180	▲492	16,500	+1,492
	2021 実績	14,127	-	584	-	1,902	-	999	-	1,101	-	▲18	-	▲3,688	-	15,008	-